

第 10 表

府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保管している土地台帳または土地補充課税台帳に登録された土地のうち、課税対象外の土地（官、公有地、公共用地、公共用道路、悪用水路、ため池、保安林、学校用地および神社・寺院などの境内地など）をのぞいた各年1月1日現在の数字である。

府 県	総 数		数		田	畑	宅 地	山 林	牧 場	原 野
	総 数	市 部	郡 部	部						
昭和 41 年	15 746 992	4 581 538	11 165 453	3 097 758	2 646 570	700 322	7 589 103	191 414	1 396 376	
42	15 771 631	4 753 515	11 010 115	3 096 542	2 635 752	723 096	7 950 564	193 200	1 400 127	
43	15 773 565	4 781 799	10 991 766	3 100 624	2 621 740	747 281	7 569 940	193 299	1 402 995	
44	15 764 656	4 851 137	10 913 519	3 107 430	2 604 432	774 036	7 533 889	194 645	1 405 860	
昭和 45 年	15 823 085	4 888 955	10 934 130	3 118 941	2 592 081	815 277	7 544 937	182 175	1 416 240	
北 海 道	2 834 809	517 464	2 317 345	262 496	662 712	49 206	1 094 786	166 698	566 713	
青 森 県	365 714	112 468	253 246	76 698	76 500	13 137	114 174	1 357	80 947	
岩 手 県	721 624	198 722	522 902	77 611	83 010	14 125	395 894	8 510	140 986	
宮 城 県	303 802	65 814	237 988	105 767	41 736	17 420	129 020	-	8 989	
秋 田 県	313 117	74 540	238 577	113 237	30 165	12 640	89 114	17	67 035	
山 形 県	344 170	152 125	192 046	102 830	42 439	12 063	146 452	6	39 253	
福 茨 城 県	548 194	197 899	350 295	106 563	95 446	17 715	277 814	1	46 803	
茨 城 県	412 446	97 752	314 693	97 333	131 868	27 628	135 760	6	16 576	
栃 木 県	338 411	135 550	202 861	96 419	59 249	20 251	147 258	465	12 173	
群 馬 県	268 638	77 838	190 800	37 327	82 174	18 144	107 040	526	21 731	
埼 玉 県	246 546	109 530	137 015	63 545	83 050	33 130	59 831	-	3 119	
千 葉 県	358 175	155 378	202 797	102 931	84 363	32 178	118 516	1 469	14 392	
東 京 都	114 905	74 384	40 522	4 859	21 696	43 338	36 629	-	4 834	
神 奈 川 県	140 397	91 930	48 466	14 894	34 787	35 194	46 420	2	4 758	
新 潟 県	488 484	176 392	312 091	179 335	52 787	22 850	209 087	-	18 583	
富 山 県	144 815	63 343	81 472	73 362	9 440	10 801	45 250	-	3 765	
石 川 県	163 560	71 132	92 428	51 837	15 021	9 376	81 193	0	4 849	
福 山 県	171 053	77 153	93 900	46 624	7 904	7 407	104 264	0	3 158	
山 梨 県	129 633	33 278	96 355	18 485	32 767	6 673	61 681	-	9 488	
長 野 県	452 308	150 120	302 188	81 029	91 422	20 105	195 269	1 682	60 499	
岐 阜 県	478 691	94 218	384 473	63 475	29 029	15 805	349 490	-	16 242	
静 岡 県	436 101	233 607	202 493	51 315	70 854	25 295	255 787	58	26 358	
愛 知 県	277 677	140 727	136 950	83 747	54 241	41 813	88 387	-	4 065	
三 重 県	291 462	107 070	184 392	66 832	29 448	13 924	173 078	2	4 590	
滋 賀 県	177 088	38 453	138 635	63 737	8 371	10 004	89 704	0	3 543	
京 都 府	167 120	81 390	85 730	36 809	13 022	12 843	98 970	8	3 299	
大 阪 府	91 508	75 067	16 441	28 206	6 861	33 966	19 266	-	646	
兵 庫 県	425 621	155 275	270 346	94 654	16 761	29 515	271 204	27	7 971	
和 歌 山 県	148 203	38 045	110 158	27 380	8 903	6 278	102 114	-	1 476	
鳥 取 県	248 968	38 550	210 418	25 117	17 519	6 342	198 001	1	1 314	
島 根 県	145 697	32 308	113 389	32 235	16 581	5 367	74 758	-	16 098	
島 岡 県	358 476	103 098	255 378	51 901	20 904	7 229	270 315	0	6 666	
広 島 県	349 127	98 148	250 979	84 950	32 384	16 494	206 612	1	5 607	
山 口 県	442 574	88 950	353 624	68 190	30 897	17 892	317 990	34	4 751	
徳 島 県	307 949	126 442	181 507	68 082	20 605	14 954	190 877	1	6 903	
香 川 県	190 837	37 986	152 850	28 190	21 166	6 356	132 876	-	735	
愛 媛 県	112 126	31 894	80 232	35 708	13 372	7 952	52 596	-	352	
高 知 県	286 706	85 113	201 593	41 399	43 399	11 089	187 852	-	1 665	
福 岡 県	332 380	106 887	225 493	33 283	22 394	5 264	266 526	-	3 519	
佐 賀 県	273 652	98 866	174 786	96 903	30 182	32 019	85 348	23	21 001	
長 崎 県	143 486	53 645	89 842	51 388	20 503	6 738	45 931	3	17 983	
熊 本 県	175 324	57 653	117 671	31 805	50 340	9 816	66 834	11	14 952	
大 宮 児 島 県	285 154	65 096	220 058	79 057	70 029	15 477	93 985	1 196	24 330	
分 島 県	213 230	77 176	136 055	54 613	33 244	10 664	79 796	-	32 935	
鹿 児 島 県	226 322	88 870	137 452	46 750	50 133	10 743	94 407	69	22 446	
	376 803	101 609	275 194	60 031	122 399	18 050	136 779	2	38 143	

第 2 章
気 象

第 2 章 気 象

年 間 概 況

昭和46年の大阪の気象は、3月中旬まで寒さが続き、気温は平年より低めだったが、下旬から本格的な春となり月末には「ななね梅雨」で天気はぐずついた。

入梅は6月3日で昨年より1週間早く、梅雨明けは、昨年より10日遅かった。

8月中旬以後、9月中旬まで全国的に異常低温となり一時、平年より5°C~7°Cも低かった。また、9月上旬には、太平洋岸各地で異常潮位があった。

10月に入ると、連日平年を下まわる低温があり、乾燥した日が12月中旬まで続いたが、年末は曇雨天の日が多かった。

月 別 概 況

1月初めと下旬の後半は、冬型気圧配置が持続し寒い日が続いたが、中旬から下旬にかけて冬型がくずれ移動性高気圧におおわれた。

この月は、冬型または移動性高気圧におおわれることが多く、天気のよい日が続き降水量は少なかった。月平均気温は5.5°Cで平年より高く、月合計降水量は26.5mmであった。なお、5日に大阪市内で初雪となった。

2月上旬は西高東低の冬型の気圧配置が続き12日頃まで気温は平年より低めだったが、中旬から天気が周期的に変化し気温は、高めとなった。このため月平均気温は、平年より0.7°Cも高かった。月合計降水量は28.5mmと平年より26.7mmも少なかった。

3月4日頃から西高東低の冬型の天気で寒い日が続いたが、気温は平年より3~5°C低い日が多かったが、下旬から本格的な春となり月末には「ななね梅雨」で雨の日が続いた。

この月の平均気温は7.3°Cで平年より0.7°C低く降水量は月末にかなり雨が降ったので、平年(104.6mm)に近い100.0mmとなった。

4月は低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変化した。

気温は9日~11日と16日~19日は平年より低く、1カ月ほど季節が逆もどりしたような冷えこみかたであった。

降水量は9、17、28日にかなりの雨が降ったが、月合計は113mmと平年より15mm少なかった。

5月上旬は北日本を中心に異常低温だったが、中旬からは全国的に初夏の陽気となり、下旬の23日頃からは「走り梅雨」に入った。

気温は平年より2~4°Cも低く、中、下旬には平年より1~3°C高い日が多く、月平均は平年より多少低めだった。

降水量は上旬は平年のまじりだったが、下旬には走

り梅雨で雨量も多く、月合計は150mmで平年を上まわった。

6月は、梅雨前線が活発化して、3日には梅雨入りが発表された(例年9日)。

西日本では、中旬頃まで雨の日が多く、月の後半は、周期的に天気の変化して時々つゆの晴れ間が見えた。

気温は、大体平均並であったが、降水量はつゆの中休みで雨は少なく、月合計163mmで平年より50mmほど少なかった。

7月、梅雨は、3日頃から中休みとなり、夏型の天気が続く梅雨は明けたかのように見えたが、16日頃から梅雨前線が活発となり雨の日が多くなったが、28日には高気圧におおわれ、梅雨前線も北上し梅雨は完全に明けた。

気温は、3~16日まで平年より2~3°C高かったが、17~28日までは平年より2~3°C低く月平均は26.9°Cであった。

8月は、台風第19号、第20号が、上旬と下旬に鹿児島県に上陸した。

中旬後半には寒気が南下して、全国的に異常低温となった。気温は、上旬はかなり高温であったが、中旬以後は異常低温で月平均は27.4°Cで平年より低かった。

降水量は台風の影響で、30、31日の2日間で70mmの降雨があり月合計107mmで平年を上まわった。

9月は、3個の台風が本州に接近し、うち1個が紀伊半島の南部に上陸した。

また、南岸には、秋雨前線が停滞して、大阪地方も曇雨天の日が多かったが、降水量は平年より少なく154.0mm、気温は大体平年並であった。また異常潮位は、3~6日まで続き、太平洋の潮位が異常上昇して東京~大阪までの各地で浸水の被害を生じた。

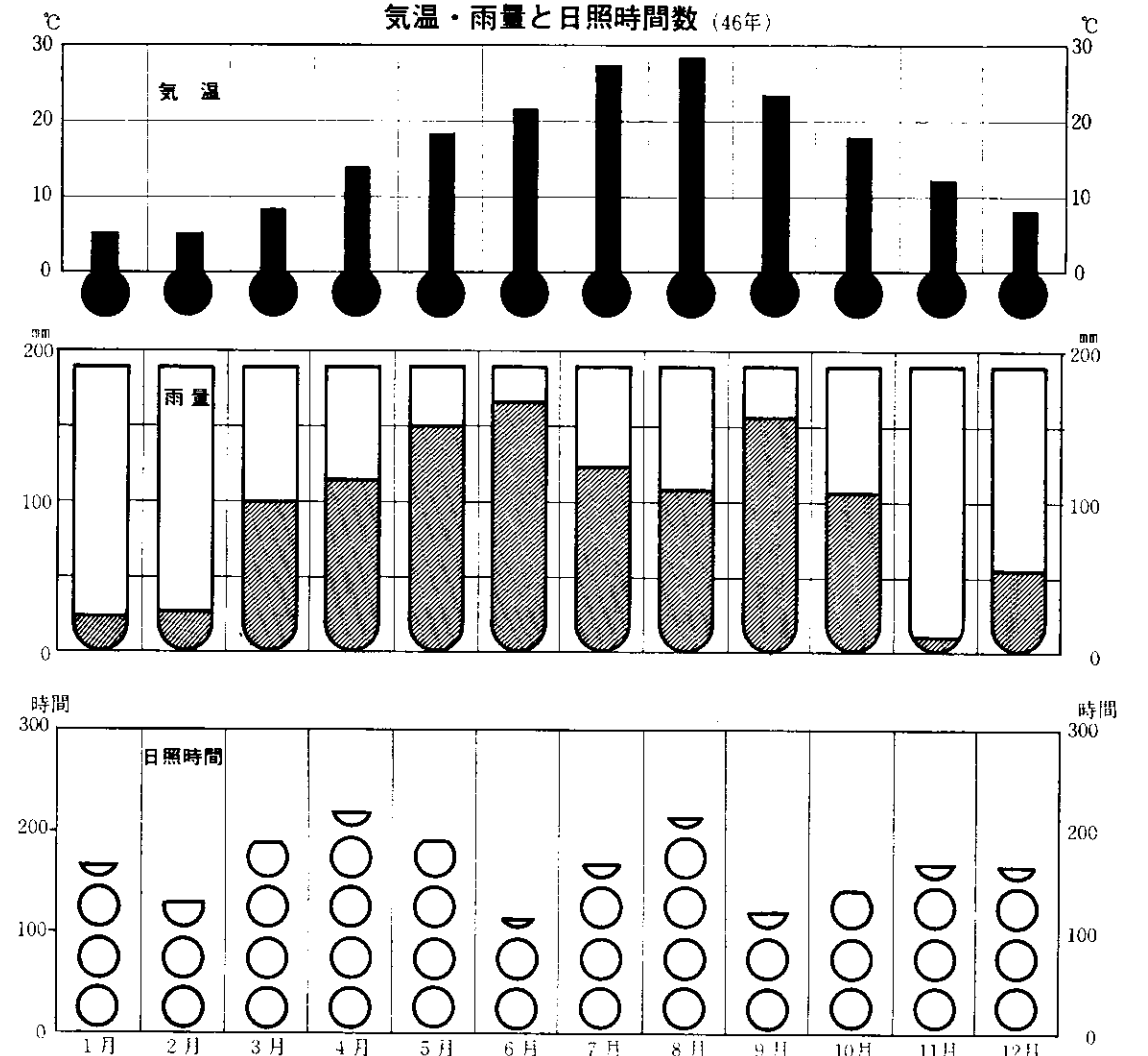
10月は、下旬はじめの2~3日間を除いて、連日平年を下まわる低温の日が続く、月平均気温は平年より1°C低い16.6°Cであった。

月の前半は秋雨前線が根強く、天気の悪い日が多かったが、後半は好天の日が多く、月降水量は110mmとほぼ平年並であった。

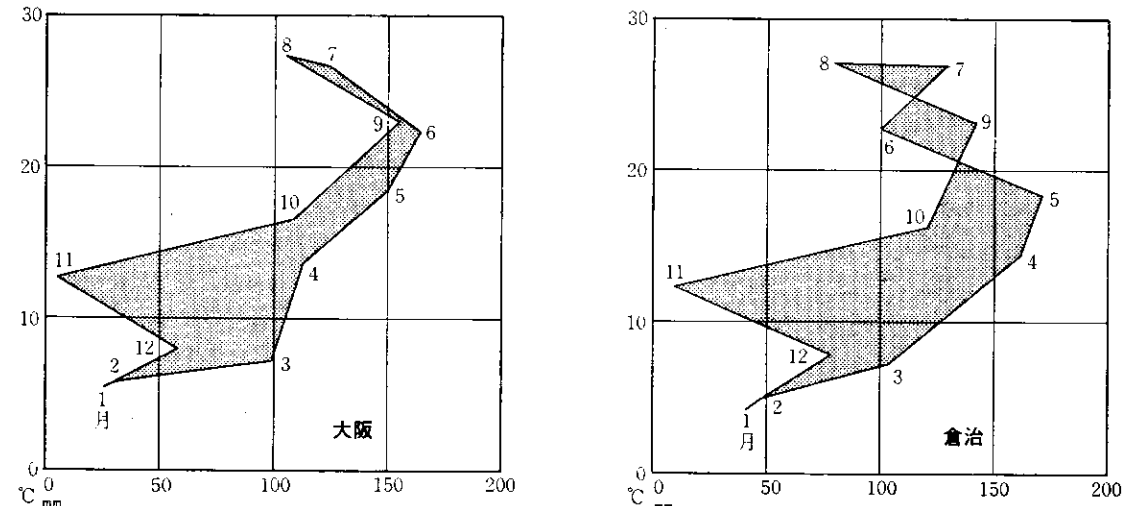
11月、この月は高気圧におおわれる日が多く、雨量を記録したのは、10、15、23日で、月降水量はわずか4mmという開設以来の記録的に少ない雨量だった。

気温は、月末には寒波の襲来で一時きびしく冷えこんだが、月平均は12.7°Cで平年より0.6°C高かった。

12月は、中旬ごろまで時々寒波の襲来で、かなり気温の低い日があり、乾燥した日が続いたが、17、18日は南高北低で気温がかなり高く、下旬には曇雨天の日が多く、26~28日には約2カ月ぶりで雨らしい雨が降り、月降水量は56.5mm、月平均気温は8.2°Cで平年より1.2°C高かった。



気温と雨量の相関関係 (46年)



第 1 表

大 阪 管 区 気 象 台

本表は「近畿気象要覧」によるものである。

Table with columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Includes data for Osaka Tube Area Weather Station.

資料 大阪管区気象台「近畿気象要覧」

第 2 表

気 象 概 況

本表は大阪管区気象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。雲量は全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準、平均風速は0時～24時の全風程から求められている。平年各欄のうち*印は過去における最高最低および最大値である。

Table with columns: 年 月, 平均気圧 (海面), 気温 (平均, 最高値, 最低値), 平均湿度, 雲量, 風速 (平均, 瞬間最大), 風向, 降水量 (総量, 最大時量), 日照時間 (総数). Includes monthly and annual averages.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 3 表

天 気 の 概 況

本表は大阪管区気象台での観測結果による日数である。なお区分中の降水量≧0.1mmが43年より降水量≧0.5mmに変更された。

Table with columns: 区分, 昭和43年, 昭和44年, 昭和45年, 昭和46年 (1月-12月). Includes categories like 降水量, 降雪日数, 暴風日数.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 4 表

気象官署区内観測所の平均気温

本表は標記各観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with columns: 観測所名, 昭和43年, 昭和44年, 昭和45年, 昭和46年 (1月-12月). Lists stations like 大上之郷, 東天富倉, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 5 表

気象官署区内観測所の降水量

本表は標記各観測所において観測したものである。

Table with columns: 観測所名, 昭和43年, 昭和44年, 昭和45年, 昭和46年 (1月-12月). Lists stations like 大上之郷, 東天富倉, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 1 表 全 国 気 象 概 況

本表の「平均相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測値を、「平均気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。「平均値」は昭和16~45の平均値である。a)は昭和31~40年平均、b)は昭和23~40年平均値、c)は昭和16~42年平均、d)は昭和29~45年平均、e)は昭和18~45年平均、f)は昭和25~45年平均、g)は昭和17~45年平均、h)は昭和26~45年平均。

Table with columns for observation station (e.g., 北海道, 青森県), average temperature (最高値, 最低値, 年平均), average relative humidity (最低値, 年平均), sunshine hours (年平均, 昭和45年), precipitation (総量, 1日最大値), and wind/snow (快晴日, 最大風速, 最深積雪).

第 3 章 人 口